

II 重点的取組

現在、世界人口の大半は都市に暮らしており、都市居住者が世界の天然資源の75%を消費し、廃棄物の大半を生み出しています。都市は地球環境に巨大な影響を及ぼしており、私たちの地球を次世代につなげていくためには、それぞれの都市が持続可能な社会の実現に向けて最善の努力をすることが必要です。

この問題解決のためには、既存の社会システムから脱却し、資源とエネルギーの大量消費に依存しない新しい循環型の社会を構築していくことが求められています。

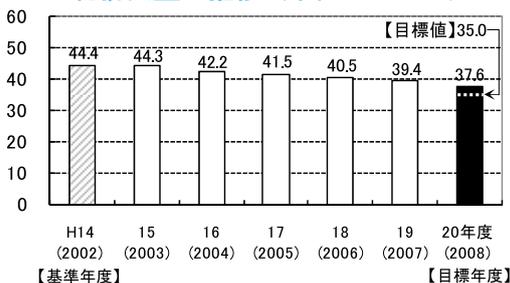
本市は、平成17年(2005年)10月、各都市共通の環境問題の解決に向けて共通の目標に取り組むことを目的とした都市環境協定に参加し、世界の各都市とともに、市民生活を支えるより良き都市環境を形成しようとしています。

持続可能な社会の実現のため、ゼロエミッションシティ広島への推進と地球温暖化対策の推進を、環境基本計画の重点的取組としています。

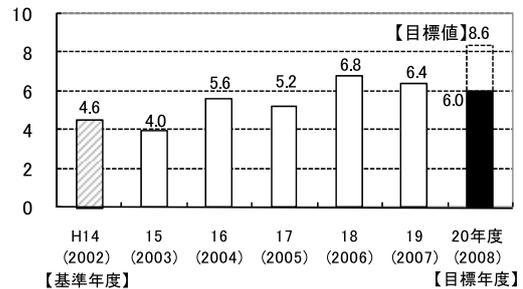
ゼロエミッションシティ広島の推進

平成16年(2004年)7月に、ごみ減量・リサイクルに取り組むための目標と具体的な行動を示す「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム～110万人のごみゼロ宣言」を策定し、3つの目標を掲げて取り組みを行いました。しかし、目標年度の平成20年度(2008年度)において「埋立処分量を50%減」については目標を達成しましたが、「ごみ総排出量を20%減」及び「リサイクルを倍増」については目標を達成できませんでした。平成21年(2009年)3月には、これまでの取組や達成状況、組成分析調査の結果などを踏まえ、環境への負荷を低減し、将来世代によりよい環境を継承していくため、平成25年度(2013年度)を目標年度とする「ゼロエミッションシティ広島を目指す第2次減量プログラム」を策定し、更なるごみの減量・リサイクルに向けて取り組むことにしました。

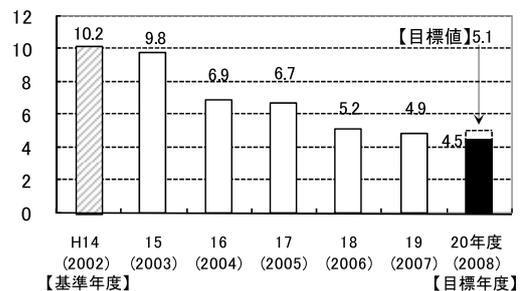
○ ごみ総排出量の推移(単位:万トン)



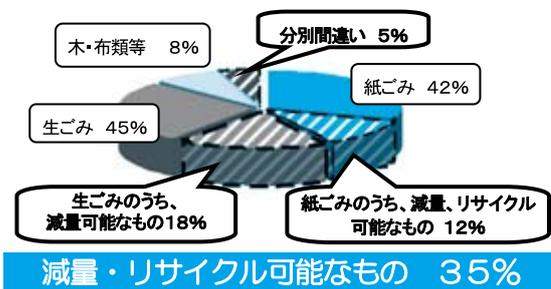
○ リサイクル量の推移(単位:万トン)



○ 埋立処分量の推移(単位:万トン)



○ 家庭から出される「可燃ごみ」のうち、約3割が減量可能です。



(平成20年度組成分析結果より)

○ 1人1日100グラムのごみ減量運動 3人家族での減量効果(単位:グラム)

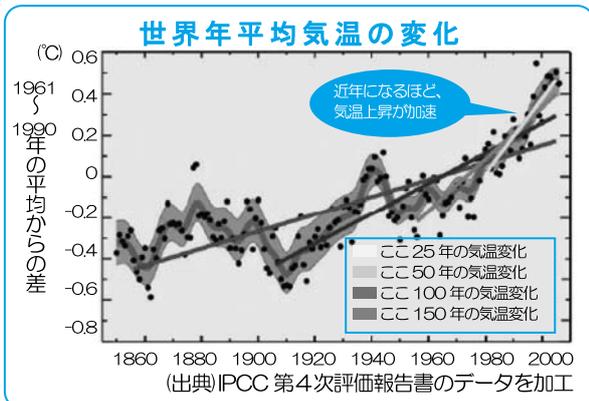
減量メニュー	減量効果
買い物袋を持ってお買い物	16
スーパーの店頭回収を利用	83
詰め替え用商品を購入	70
生ごみの水切り	50
エコクッキング	60
トレー包装ではなく、ばら売り、量り売りの食品を購入	15
職場でマイカップ、マイはしを利用	18
合計	312

116万人で取り組めば、
1年間で約4万4千トンの減量に!

地球温暖化対策の推進

地球温暖化は、その予想される影響の大きさや深刻さからみて、人類の生存基盤に関わる喫緊の課題であり、世界的な対策が必要です。

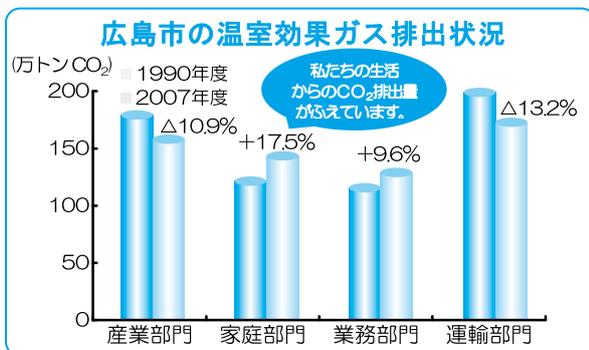
地球温暖化の主な原因は、石油などの化石燃料を燃やす時に発生する二酸化炭素（CO₂）であるため、地球温暖化問題は、エネルギー問題であるともいえます。



○ 本市市域からの温室効果ガス排出量

本市市域からのCO₂など温室効果ガスの排出量は、おおむね横ばいで推移しています。

しかし、家庭部門からの排出量は、世帯数の増加、家電製品の保有台数の増加や大型化などにより、著しく増加しています。

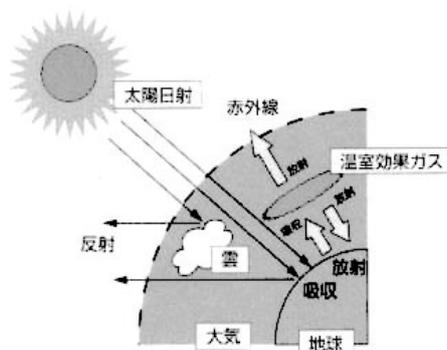


地球温暖化のメカニズム

もしも地球上に温室効果ガスがなかったとすれば、地球の平均気温はマイナス 18°Cとなり、生命の存在できない極寒の星となるといわれています。

地表の平均気温は、①太陽から届く日射エネルギーが地表面に吸収され、②加熱された地表面から、熱が赤外線として放射され、③温室効果ガスがこの熱を吸収し、④その一部を地表に向けて放射して、再び地表面や下層の大気を加熱することにより、生物の生存に適した約 15°Cに保たれています。

近年の人間活動の拡大に伴う石油など化石燃料の燃焼により、温室効果ガスの一つである二酸化炭素が大量に大気中に排出され、その結果、地球温暖化が顕著になっています。



省エネにチャレンジ!

私たちの生活からのCO₂排出量を減らすためには、どんな方法があるのでしょうか。

ひとつは、太陽光などの再生可能エネルギーの導入です。広島市は、日射量に恵まれており、3,000~4,000戸の住宅に、太陽光発電システムが設置されています。

もう一つは、身近な取り組みで、地球も財布も喜ぶ省エネです。みなさんもチャレンジしてみませんか。

(□の中は1日あたりのCO₂削減量の目安です。)



毎月、マイカー乗るまあデーに参加し、それ以外の時も、できるだけ車に乗らず、電車・バスなど公共交通機関を利用する。

397グラム/日

電気製品は、使わない時はコンセントからプラグを抜き、待機時消費電力を少なくする。

275グラム/日



シャワーはお湯を流しっぱなしにしないように気を付ける。

<1分間/回短縮>

87グラム/日

○ ひろしまエコライフポイント

パソコンや携帯電話で、気軽に参加できる地球温暖化防止の取り組みです。取り組みによって、ポイントがたまり、市内の協力店で特典と交換できます。

広島市ホームページ

<http://www.city.hiroshima.lg.jp>

エコライフポイント

検索

